

き た は ら

喜多原だより

NO. 86

令和7年6月吉日発行

園長挨拶

新年度になり、職員の異動もあり、新たに8名の職員を迎え入れて、園長含め31名の職員で令和7年度体制がスタートしました。児童については、桜が満開の中、入学式も行い、男子児童8名で生活が始まりました。新年度だけに職員、児童ともに緊張した面持ちで、ピリッとした時期を過ごしています。

さて、令和6年度においては、喜多原学園と併設学校である福生中学校いずみ分校、福生東小学校分教室の職員及び先生方も定数が満たされない中で子どもの生活支援、学習支援に取り組んできました。このような条件の中、職員及び先生は子ども達と共に喜び、悔しがり、楽しみ、時にはぶつかり合い、話し合ってわかり合いながら、子ども達を支えてきました。こうやって支えていくことができたのも、職員、教員が子ども達になってほしい姿をイメージし、育てていくんだという強い意欲を持ち、また、保護者や児童相談所、児童が在籍していた学校の先生、後援会の皆様をはじめとする関係する方々のご理解、ご協力といったバックアップの両輪が合致した結果だと考えています。

さて、今年度ですが、例年同様、野球大会、バレーボール大会、駅伝大会、水泳記録会といったスポーツ行事や園遊会、授業参観などの文化的行事や学校行事も実施する計画を立てています。特に駅伝大会は鳥取県が開催県となり、中国地区の児童自立支援施設の児童が集まって、鳥取県西部地区のコースで競技を行います。ただ、勝ち負けも大事ですが、一生懸命さ、ひたむきさ、我慢、チームワークなど今までになかった一面が見える、または今まで見えていた面が成長している姿を共有したいと思っています。

今年度も両輪合致して、ともに子どもの成長を感じていきましょう。よろしくお願いします。



園長 坪倉嘉隆



各寮紹介

＜男子寮＞

昨年度、3名の児童が退所し、新しく2名の児童が入所した今年の春。「自分の気持ちを言葉で表すこと」、「自己主張をすること」、「相手の意見を聞くこと」を職員と共に継続して練習しているところです。一人ではできないことも助けてもらってできる、協力して事に当たることでうまくいく、うまくできなくてもなんとかやり切る、そんな経験が多くできるように日々の生活を送ってきたいと思っています。



男子寮長 永田博文

＜女子寮＞

新たなメンバーでスタートして間もないですが、寮内では「〇さんがこう言ってくれてうれしかったわ〜」「〇先生っていいよね〜」というような会話がよく聞かれます。子どもも大人も、お互いを認め合える雰囲気であることを、日々の生活から感じています。この安心できる雰囲気の中、今年度もみんなで話し合いながら、それぞれが力を発揮できる生活を目指していきます。今もその先も、子どもと周りの大人が同じ方向を目指していけるように、対話を大切にしていきたいと思います。



女子寮長 加川綾子

令和7年度の幕開け

令和7年度のいずみ分校は、4月9日（水）にスタートしました。

最初の着任式では新たに1名の先生を迎えました。そして、新3年生4名と小学6年生1名、そして教員7名で、米子市立福生中学校いずみ分校・福生東小学校分教室の始業式をおこないました。

昨年度より少ない人数でのスタートとなりましたが、その日のうちに挙行された入学式で2名の新入生を迎え、総勢7名の児童・生徒での船出となりました。

始業式では、退所して原籍校に戻ったり、卒業して進学や就職したりしてからの自分の姿をイメージして、今の自分の課題に向き合いながら毎日ちょっとずつ成長していける1年にしてほしいという話をしました。

喜多原学園の理念にもあるように、児童・生徒のみなさんはやがて社会人として「自立し、社会と調和」しながら生きていかなければなりません。逆に言うと、「自立し、社会と調和」できるようになるための土台となる部分を自分のなかに作り上げないと、次のステップには進めないということになります。

通常の学校よりはかなり小さな集団ではありますが、自分のことも仲間のことも大切にして、みんなで成長できるいずみ分校・分教室にしていきたいと思います。

いずみ分校 教頭 吉村崇志

観桜会

毎年新年度の初めには「観桜会」を実施しています。今年は天候に恵まれ、さわやかな晴れの日桜の木の下で BBQ をすることができました。学園の児童、分校の先生、寮職員が一堂に会し、美味しいお肉を食べながら、自己紹介をし合ったり、たくさんお話をしたりして、楽しい時間を過ごすことができました。自己紹介で「好きな〇〇」というお題を一人ひとりが発表し合い、互いの新たな一面を知る機会にもなりました。子ども達の笑顔がたくさん見られ、このメンバーで一年間頑張るぞ〜！という気持ちになった観桜会でした。

男子寮職員 中島萌々子

野菜が美味しかった。桜がきれいだった。

男子児童 K・S



春の遠足～大山青年の家での体験活動～

4月18日、今年度の春の遠足は、大山青年の家へ出かけ、さまざまな体験活動に挑戦しました。

到着して入所式を終えると、早速取りかかったのが野外炊事です。おいしいハヤシライスを作るために、調理係と薪割り・かまど係に役割分担して、それぞれが協力しながら自分の役割に取り組みました。自分たちで作り、自然の中で食べたハヤシライスは、これまで食べたものより何倍もおいしく感じられたのではないのでしょうか。

野外炊事後、小さな木の板をどれだけ高く積み上げられるかをチーム対抗で競う「カブラ」と、パラリンピックの正式種目にもなっている「ボッチャ」を体験させていただきました。どちらもやり始めると熱が入って、とても盛り上がりました。

最後は、オリエンテーリングに挑戦。広大な青年の家の敷地の地図を手に、班ごとに協力しながら、森の中に設置されたチェックポイントを探して歩きます。驚くほどのスピードで全部クリアしてしまう班もあれば、制限時間ギリギリまで探し続けた班もありました。この時期にしては気温も高かったので、大人はヘトヘトになっていましたが、子ども達はその後も大広場で元気に遊んでいました。

今回の遠足でのさまざまな体験活動を通して、自分の役割を果たすことの大切さや、思いやりを持って行動することの素晴らしさを、みなさん一人ひとりが実感できたのではないのでしょうか。

いずみ分校 教諭 山根壮平

普段経験できないことを経験できたのが楽しかった。

男子児童 T・R



令和7年度 着任教職員挨拶

【学園】

<係長 大坂奈緒美>

初めて喜多原学園で勤務します。西部での勤務は初めてなので、右も左もわからない毎日ですが、元気いっぱいな子ども達と愉快的な先生方と一緒に、楽しく健康的に過ごしたいと思います。よろしくお願いします。

<児童自立支援専門員 河原孝文>

今年度から配属になりました河原です。喜多原学園は2回目となります。私個人のスローガンである「子ども達と苦楽を共にする」を胸に子ども達の自立を目指して勤務したいと思っています。

<児童生活支援員 谷本英美>

今年度、喜多原学園に配属の谷本です。一緒に生活していく中で子ども達を支え、共に学び、笑顔と自立を育みます。子どもと共に自身を支援者として成長させ、希望を広げます。よろしくお願い致します。

<児童自立支援専門員 森明花>

今年度より、喜多原学園に配属になりました、森と申します。社会人1年目でわからないことばかりですが、職員や子ども達に支えていただきながら日々勤務しています。たくさんのことを学び経験し、支援者として成長していくことができるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

<現業技術員 井上順子>

西部総合事務所県民福祉局から異動してきました。長年、知的・精神障がいのある方を支援しながら、一緒に働く仕事をしてきました。何の知識も経験もない仕事をする事になり困惑することが多いですが、個性豊かな子どもたちがいて面白いと感じています。互いに良い影響を与え合い、良い思い出が作れるよう頑張っていきたいと思います。

【分校・分教室】

<教諭 古川正樹>

はじめまして。今年度転勤してきました。美術の授業では、想像力をふくらませておもしろいアイデアを考えたり、普段見せない自分を表現したりしてほしいと思います。みなさんとの授業を楽しみにしています。よろしくお願いします。

<講師 米田達司>

この春、美保中学校より転勤して参りました 米田達司です。喜多原学園敷地内に初めて足を踏み入れたとき、「なんて空気が澄んでいるんだろう」と、うれしくなりました。国語を担当します。よろしくお願いします。

<講師 小林洋輔>

今年からお世話になることになりました。教職を定年退職してから6年がたっていますが、児童・生徒たちが楽しみながら体を動かしてくれる授業にしようと思っていますので、よろしくお願いします。

教職員の異動

【学園】

(令和7年3月31日付)

転任	次長兼指導課長	小泉 浩二	(倉吉児童相談所)
	総務担当	井上 光志	(米子県土整備局)
	児童自立支援専門員	青戸 優里	(総合療育センター)
	児童自立支援専門員	谷野 純麗	(米子児童相談所)
退職	児童自立支援専門員	福本 涼葉	
	心理療法担当(会計年度任用職員)	林 美奈子	
	保健支援員(会計年度任用職員)	足立 泰子	(令和7年2月28日付)

(令和7年4月1日付)

昇任	指導課長	堀江 健太郎	(女子寮副寮長(係長))
着任	次長兼総務課長	前田 耕次	(境港管理組合)
	児童生活支援員(係長)	大坂 奈緒美	(皆成学園)
	児童自立支援専門員	河原 孝文	(皆成学園)
	現業技術員	井上 順子	(西部総合県民福祉局)
	総務課事務員(会計年度任用職員)	廣田 四郎	(皆成学園)
	児童自立支援専門員	森 明花	(新規採用)
	児童生活支援員	影山 健太	(新規採用)
	児童生活支援員(会計年度任用職員)	谷本 英美	(新規採用)
	心理療法担当(会計年度任用職員)	嘉神 美咲	(新規採用)
	保健支援員(会計年度任用職員)	山根 幸子	(新規採用:令和7年6月1日付)
退職	直接処遇指導員(会計年度任用職員)	乗本こず江	(令和7年6月30日付)

【分校・分教室】

(令和7年3月31日付)

転任	教諭	菊池 敏子	(米子市立福米中学校)
	講師	本池 弘昭	(米子市立東山中学校)
	講師	坪倉 龍太	(米子市立加茂中学校)
	講師	村上 翼	(日南町立日南小学校)
	講師	遠藤 佑斗	(出雲市立中部小学校)

(令和7年4月1日付)

着任	教諭	古川 真樹	(本務:福生中学校本校)
	講師	米田 達司	

令和7年度 後援会役員

※敬称略・順不同

会 長	赤沢 亮正	委 員	関山 公郎	仲原 克弘
副 会 長	上森 英史 鶴木 真理子		森脇 宏	西村 健吾
事務局長	馬詰 俊哉		坪倉 嘉隆	前田 耕次
監 事	中川 正純 松永 芳久		堀江 健太郎	永田 博文
			加川 綾子	

昨年度、後援会費はスポーツ活動費、生徒会活動、スキー・スノーボード体験費等に使用させていただきました。あらためてお礼申し上げます。今後も後援会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

中国少年野球大会の抱負

7月9日から11日まで、山口県のきららドームで第70回中国少年野球大会が行われます。昨年度は惜しくも敗れてしまいましたが、念願の勝利に向かう監督・キャプテンへのインタビューを行いました。

私たちのチームは現在児童8名で活動しています。監督の自分も含め、子ども達全員が未経験者の中で、主将や副将を筆頭に皆で話し合いながら、練習メニューを考え取り組んでいます。日課の運動時間以外も余暇時間を使って自主的にキャッチボールをするなど野球というスポーツに向き合っています。中国少年野球大会では、子ども達と職員が一丸となって精一杯頑張ります。

男子寮職員（監督） 上紙啓

負けているときでも声を出して、チームを鼓舞します。

男子児童（キャプテン） H・Y

令和7年度 年間行事計画

4月	観桜会、遠足	10月	バレー大会、脱穀、駅伝大会
5月	乗馬交流、こたか保育園交流	11月	園遊会、乗馬交流
6月	田植え	12月	サックス演奏会、クリスマス会、餅つき
7月	野球大会、川遊び	1月	とんど、スキー・スノーボード体験
8月	海水浴、夏休み行事	2月	スキー・スノーボード体験
9月	稲刈り、キャンプ、大山登山	3月	卒業を祝う会

児童在籍情報 ※R7年6月30日時点

小学生		中学生		中卒生		計
男子	女子	男子	女子	男子	女子	
1名	0名	7名	2名	0名	0名	10名

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611